

病虫害情報

奈良防号外
令和7年8月21日

関係機関長 殿
病虫害防除員 殿
調査員・情報員 殿
農業資材販売等関係者 殿

奈良県病虫害防除所長

病虫害情報の送付について

このことについて、以下の通り発表しました。

管轄の水稻農家に周知するとともに、安全・適正な防除についてご指導をお願いします。

令和7年度病虫害情報第4号

病虫害：紋枯病

作物：水稻

対象地域：平坦地域 発生時期：平年並 発生量：やや多い

1. 情報の根拠

(1) 令和7年8月19、21日に調査した結果、平年よりやや多い発生が認められました。

発生ほ場率：43.8%（平年39.4%、前年9.5%）

発病株率：20.2%（平年5.5%、前年1.1%）

(2) 一部の圃場で病斑の上位への進展が確認されています。

今後、気温が高く推移すると、さらに上位へ進展する可能性があります。

2. 防除上の注意事項

(1) ほ場によって紋枯病の発生状況が異なるので、ほ場を見回り発生状況を確認して下さい。

(2) 紋枯病により株が倒伏すると収穫に労力を要します。倒伏の可能性がある際は、収穫適期の範囲内で早刈りして下さい。

(3) 病斑の上位への進展が確認される場合は防除を行って下さい。その際、薬剤の収穫前使用日数をよく確認します。

※防除薬剤は下表を参考にして下さい。

3. その他の注意事項

- (1) 農薬を使用する際には、ラベルに記載された登録の有無、収穫前使用日数や使用回数を確認します。
- (2) 紋枯病の病斑が上位まで進展すると、穂枯れ、倒伏や玄米品質の低下を引き起こします。
- (3) 紋枯病の発病適温は28～32℃であり、高温年に発生が多くなります。
- (4) 紋枯病の伝染源は被害イネ等に形成された菌核です。多発した圃場では、次作も多発する恐れがあるため発生状況に注意します。

表 紋枯病に対する主な防除薬剤（令和7年8月21日現在の登録状況）

農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	FRAC コード
リンバー粒剤	3～4kg/10a	散布	収穫30日前まで	2回以内	フラメトビル	7
モンガリット粒剤	3～4kg/10a	湛水散布	収穫30日前まで	2回以内	シメコナゾール	3
モンカット水和剤	1,000倍 60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	4回以内	フルトラニル	7
アミスターエイト	1,000～1,500倍 100～200L/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内	アゾキシストロビン	11
バリダシン液剤5	1,000倍 60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	5回以内	バリダマイシン	U18



写真 紋枯病の病斑



写真 紋枯病による下葉の枯れ

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所/奈良県公式ホームページ

<http://www.pref.nara.jp/1557.htm>

奈良県農薬情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>